

PICUの種類



1型 小児病院に設置
8床程度・小児に限定
1看護単位



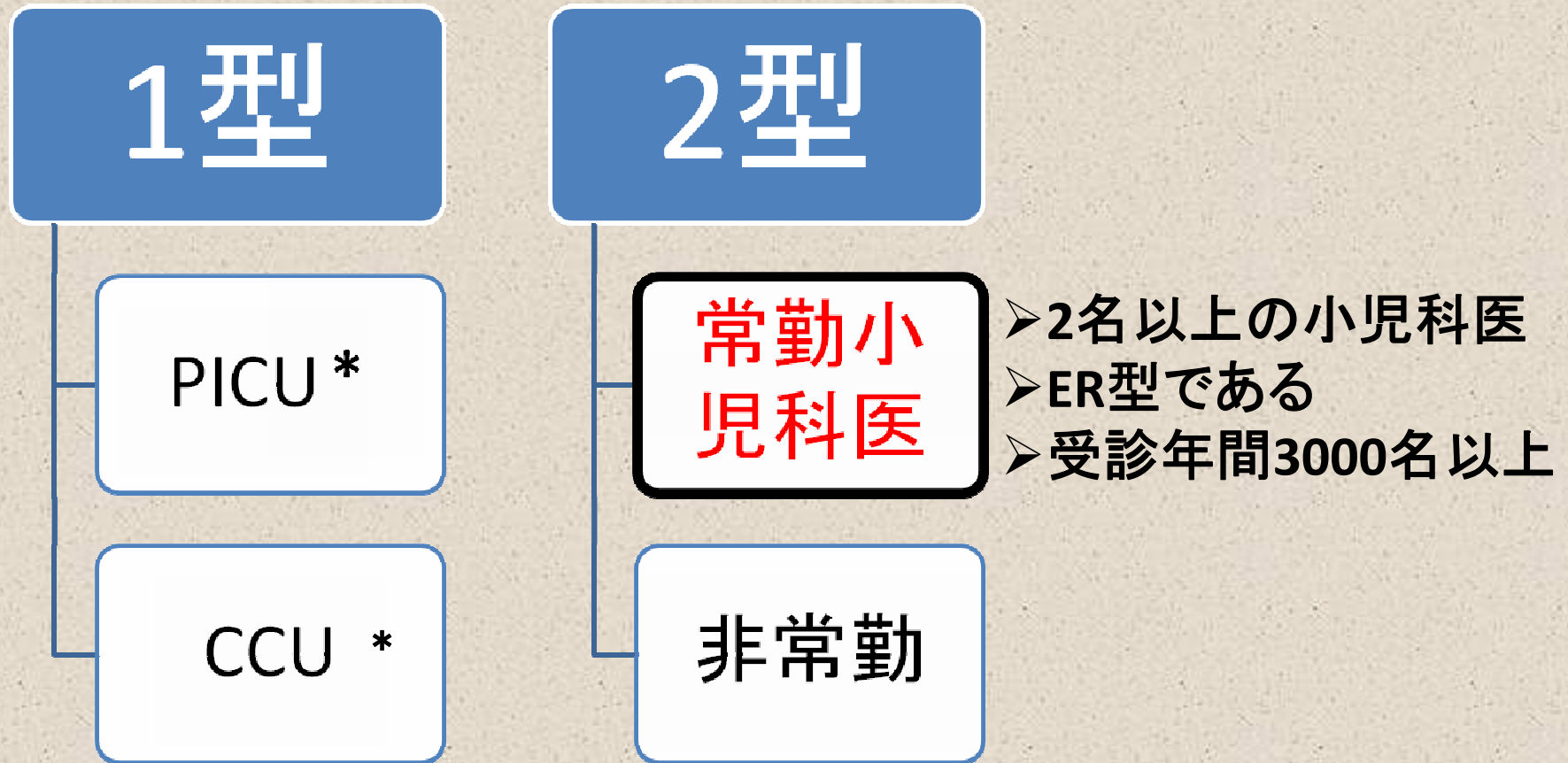
2型 救命救急センターに設置
2床程度・成人と共用

1型 小児救命救急センター試案			
日本小児科学会 小児医療改革・救急プロジェクト			
摘要	小児救命救急センター		備考
人口	200万		
15歳未満人口	28万		
設置条件	中核病院		日本小児科学会改革ビジョンに示す中核病院、又は救命救急医療を実施する地域小児科センター病院
搬送	搬送		病院側から迎えにゆく。
	救命救急部門(外来)	集中治療部門(入院)	
(海外文献)	Emergency Medicine, Accident and Emergency Department, Trauma Center	Pediatric Intensive Care Unit	
病床数	外来処置ベッド 6 (蘇生・処置・観察)	6 (=救急用) 院内用病床はこれに追加	
平均在床日数		21	新生児・小児の呼吸管理例は短期退院が難しい
医師	常勤5、研修医5	常勤 2、研修医2	
専門医	小児救命救急専門医 2	小児集中治療専門医 1	専門医制度は未確立につき、将来の専門医に匹敵する者として考える
専門医履修中の常勤医	3	1	専門医履修: 小児科、麻酔科、(救命救急科、集中治療科)
後期研修医	3	1	
初期研修医	2	1	
	(2名夜勤)	(院内体制分は別に必要)	
30分以内に動員できる医師	小児科医、麻酔科医、外科医、小児放射線科医、臓器専門小児科医(循環器、腎臓、内分泌、消化器、アレルギー、神経、呼吸器、精神科、感染症、血液・悪性腫瘍)、外科(脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、形成外科、眼科、心臓血管外科)		左のうち、希少専門医に関してはさらに広域においてコンサルテーション体制をとる
看護師			
小児集中治療専門看護師	1	1	
看護師	常時 5 (電話相談1、外来処置・ベッド対応3、トリアージ1)	常時3	2交代制を基本とする
その他コメディカル			
放射線科技師	常時1		病院部門兼務
検査科技師	常時1		病院部門兼務
薬剤師	常時1		病院部門兼務
保育士	昼間1		病院部門兼務
30分以内に動員	ソーシャルワーカー		病院部門兼務
受付、事務、記録、医療相談	常時2		病院部門兼務

PICUの種類

2型一般救命救急センターにおける「小児救命救急体制」試案			
日本小児科学会 小児医療改革・救急プロジェクト			
摘要	一般救命救急センターにおける「小児救命救急部門」		備考
人口	100万		
15歳未満人口	14万		
搬送	搬送		病院側から迎えにゆく。
	救命救急部門	集中治療部門	
	Emergency Medicine, Accident and Emergency Department, Trauma Center	(Pediatric) Intensive Care Unit	
小児用病床数	外来処置ベッド 3 (蘇生・処置・観察)	3 (=救急用) 院内用病床はこれに追加	成人区画から独立した待合、処置室、観察室、病室を設置する
平均在床日数		21	新生児・小児の呼吸管理例は短期退院が難しい
小児専門医師	常勤 2、研修医 2	常勤1、研修医 1	
専門医	小児救命救急専門医1	(小児集中治療)	制度は未確立
同専門医専攻の常勤医	1	1	小児科、麻酔科、(救命救急科、集中治療科)
後期研修医	1	1	
初期研修医	1		
	(1名夜勤)	(院内体制は別に必要)	
30分以内に動員できる医師	小児科医、麻酔科医、外科医、小児放射線科医、臓器専門小児科医(循環器、腎臓、内分泌、消化器、アレルギー、神経、呼吸器、精神科、感染症、血液・悪性腫瘍)、外科(脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、形成外科、眼科、心臓血管外科)		左のうち、希少専門医に関してはさらに広域においてコンサルテーション体制をとる
看護師			
小児集中治療専門看護師	1	1	
小児看護師	常時3(外来処置2、トリアージ1)	常時3	2交代制を基本とする
その他コメディカル(成人と共通で)			
放射線科技師		常時1	病院部門兼務
検査科技師		常時1	病院部門兼務
薬剤師		常時1	病院部門兼務
保育士		常時1	病院部門兼務
30分以内に動員		ソーシャルワーカー	病院部門兼務
受付、事務、記録、医療相談		常時2	病院部門兼務

PICUの設置について



* 施設内に1箇所とする。緊急的ICUと待機的ICUに分類